

計画処理量

[現在] 焼却施設・資源化施設				[追加検討] 中継施設・資源化施設																																																																																																	
<p>5-2 計画処理量（ケース 2：プラスチック使用製品廃棄物を資源化する場合）</p> <p>計画目標年次における処理対象ごみ量は以下のとおりです。</p> <p>なお、プラスチック使用製品廃棄物については、資源化処理に取組むものとして「計画処理量」の検討を行いました。</p> <p>プラスチック使用製品廃棄物の回収開始年度をごみ焼却施設の稼働年度である令和 15（2033）年度と想定、回収量はプラスチックごみ排出状況調査の結果から想定しました。</p> <p>(1) 資源化施設</p> <p style="text-align: center;">表 5-2-1 処理対象ごみ量（資源化施設）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">ごみの種類</th> <th>処理対象量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">資源系 (選別・圧縮系)</td> <td>缶</td> <td>152 t/年</td> <td rowspan="3">・計画目標年次：令和 9（2027）年度 ・将来ごみ排出量の選別・圧縮処理対象量より</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>229 t/年</td> </tr> <tr> <td>ビン</td> <td>756 t/年</td> </tr> <tr> <td>プラスチック使用製品 廃棄物</td> <td>1,132 t/年</td> <td>・将来ごみ排出量の稼働後 7 年以内で最大選別・選別処理対象量より（令和 15（2033）年度回収開始年度）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,269 t/年</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">粗大ごみ (破碎・選別系)</td> <td>粗大ごみ (一時多量ごみを含む)</td> <td>409 t/年</td> <td rowspan="2">・将来ごみ排出量の破碎・選別処理対象量より（令和 13（2031）年度）</td> </tr> <tr> <td>その他燃やさないごみ</td> <td>1,403 t/年</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,812 t/年</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">「芦屋市一般廃棄物処理基本計画」より</p> <p>(2) 資源化施設（受入ヤード/貯留ヤード）</p> <p style="text-align: center;">表 5-2-2 保管対象ごみ量（資源化施設（受入ヤード/貯留ヤード））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">ごみの種類（資源ごみ）</th> <th>保管対象量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">受入 ヤード</td> <td>缶【混合】</td> <td>152 t/年</td> <td rowspan="7">【缶、ペットボトル、ビン、紙資源、小型家電】 ・計画目標年次：令和 9（2027）年度 ・将来ごみ排出量の資源化物量より ・缶【成形品】に関するアルミ、スチールは、過去の実績（H30～R3）の比率から案分【プラスチック使用製品廃棄物】 ・稼働後 7 年以内最大処理量：令和 15（2033）年度（回収開始年度） 【粗大ごみ+その他燃やさないごみ】 ・稼働後 7 年以内最大処理量：令和 13（2031）年度</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>229 t/年</td> </tr> <tr> <td>ビン</td> <td>756 t/年</td> </tr> <tr> <td>プラスチック使用製品 廃棄物</td> <td>1,132 t/年</td> </tr> <tr> <td>粗大ごみ</td> <td>409 t/年</td> </tr> <tr> <td>紙資源</td> <td>73 t/年</td> </tr> <tr> <td>その他燃やさないごみ</td> <td>1,403 t/年</td> </tr> </tbody> </table>				ごみの種類		処理対象量	備考	資源系 (選別・圧縮系)	缶	152 t/年	・計画目標年次：令和 9（2027）年度 ・将来ごみ排出量の選別・圧縮処理対象量より	ペットボトル	229 t/年	ビン	756 t/年	プラスチック使用製品 廃棄物	1,132 t/年	・将来ごみ排出量の稼働後 7 年以内で最大選別・選別処理対象量より（令和 15（2033）年度回収開始年度）	合計	2,269 t/年	—	粗大ごみ (破碎・選別系)	粗大ごみ (一時多量ごみを含む)	409 t/年	・将来ごみ排出量の破碎・選別処理対象量より（令和 13（2031）年度）	その他燃やさないごみ	1,403 t/年	合計	1,812 t/年	—	ごみの種類（資源ごみ）		保管対象量	備考	受入 ヤード	缶【混合】	152 t/年	【缶、ペットボトル、ビン、紙資源、小型家電】 ・計画目標年次：令和 9（2027）年度 ・将来ごみ排出量の資源化物量より ・缶【成形品】に関するアルミ、スチールは、過去の実績（H30～R3）の比率から案分【プラスチック使用製品廃棄物】 ・稼働後 7 年以内最大処理量：令和 15（2033）年度（回収開始年度） 【粗大ごみ+その他燃やさないごみ】 ・稼働後 7 年以内最大処理量：令和 13（2031）年度	ペットボトル	229 t/年	ビン	756 t/年	プラスチック使用製品 廃棄物	1,132 t/年	粗大ごみ	409 t/年	紙資源	73 t/年	その他燃やさないごみ	1,403 t/年	<p>5-2 計画処理量</p> <p>計画目標年次における処理対象ごみ量は以下のとおりです。</p> <p>なお、プラスチック使用製品廃棄物については、資源化処理に取組むものとして「計画処理量」の検討を行いました。</p> <p>プラスチック使用製品廃棄物の回収開始年度を資源化施設の稼働年度である令和 15（2033）年度と想定、回収量はプラスチックごみ排出状況調査の結果から想定しました。</p> <p>(1) 資源化施設</p> <p style="text-align: center;">表 5-2-1 処理対象ごみ量（資源化施設）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">ごみの種類</th> <th>処理対象量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">資源系 (選別・圧縮系)</td> <td>缶</td> <td>146 t/年</td> <td rowspan="3">・計画目標年次：令和 15（2033）年度 ・将来ごみ排出量の選別・圧縮処理対象量より</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>221 t/年</td> </tr> <tr> <td>ビン</td> <td>727 t/年</td> </tr> <tr> <td>プラスチック使用製品 廃棄物</td> <td>1,280 t/年</td> <td>・将来ごみ排出量の稼働後 7 年以内で最大選別・選別処理対象量より（令和 21（2039）年度）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,374 t/年</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">粗大ごみ (破碎・選別系)</td> <td>粗大ごみ (一時多量ごみを含む)</td> <td>402 t/年</td> <td rowspan="2">・将来ごみ排出量の破碎・選別処理対象量より（令和 15（2033）年度）</td> </tr> <tr> <td>その他燃やさないごみ</td> <td>1,391 t/年</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,793 t/年</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">「芦屋市一般廃棄物処理基本計画」より</p> <p>(2) 資源化施設（受入ヤード/貯留ヤード）</p> <p style="text-align: center;">表 5-2-2 保管対象ごみ量（資源化施設（受入ヤード/貯留ヤード））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">ごみの種類（資源ごみ）</th> <th>保管対象量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">受入 ヤード</td> <td>缶【混合】</td> <td>146 t/年</td> <td rowspan="7">【缶、ペットボトル、ビン、紙資源、小型家電】 ・計画目標年次：令和 15（2033）年度 ・将来ごみ排出量の資源化物量より ・缶【成形品】に関するアルミ、スチールは、過去の実績（H30～R3）の比率から案分【プラスチック使用製品廃棄物】 ・稼働後 7 年以内最大処理量：令和 21（2039）年度 【粗大ごみ+その他燃やさないごみ】 ・計画目標年次：令和 15（2033）年度</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>221 t/年</td> </tr> <tr> <td>ビン</td> <td>727 t/年</td> </tr> <tr> <td>プラスチック使用製品 廃棄物</td> <td>1,280 t/年</td> </tr> <tr> <td>粗大ごみ</td> <td>402 t/年</td> </tr> <tr> <td>紙資源</td> <td>72 t/年</td> </tr> <tr> <td>その他燃やさないごみ</td> <td>1,391 t/年</td> </tr> </tbody> </table>				ごみの種類		処理対象量	備考	資源系 (選別・圧縮系)	缶	146 t/年	・計画目標年次：令和 15（2033）年度 ・将来ごみ排出量の選別・圧縮処理対象量より	ペットボトル	221 t/年	ビン	727 t/年	プラスチック使用製品 廃棄物	1,280 t/年	・将来ごみ排出量の稼働後 7 年以内で最大選別・選別処理対象量より（令和 21（2039）年度）	合計	2,374 t/年	—	粗大ごみ (破碎・選別系)	粗大ごみ (一時多量ごみを含む)	402 t/年	・将来ごみ排出量の破碎・選別処理対象量より（令和 15（2033）年度）	その他燃やさないごみ	1,391 t/年	合計	1,793 t/年	—	ごみの種類（資源ごみ）		保管対象量	備考	受入 ヤード	缶【混合】	146 t/年	【缶、ペットボトル、ビン、紙資源、小型家電】 ・計画目標年次：令和 15（2033）年度 ・将来ごみ排出量の資源化物量より ・缶【成形品】に関するアルミ、スチールは、過去の実績（H30～R3）の比率から案分【プラスチック使用製品廃棄物】 ・稼働後 7 年以内最大処理量：令和 21（2039）年度 【粗大ごみ+その他燃やさないごみ】 ・計画目標年次：令和 15（2033）年度	ペットボトル	221 t/年	ビン	727 t/年	プラスチック使用製品 廃棄物	1,280 t/年	粗大ごみ	402 t/年	紙資源	72 t/年	その他燃やさないごみ	1,391 t/年
ごみの種類		処理対象量	備考																																																																																																		
資源系 (選別・圧縮系)	缶	152 t/年	・計画目標年次：令和 9（2027）年度 ・将来ごみ排出量の選別・圧縮処理対象量より																																																																																																		
	ペットボトル	229 t/年																																																																																																			
	ビン	756 t/年																																																																																																			
	プラスチック使用製品 廃棄物	1,132 t/年	・将来ごみ排出量の稼働後 7 年以内で最大選別・選別処理対象量より（令和 15（2033）年度回収開始年度）																																																																																																		
	合計	2,269 t/年	—																																																																																																		
粗大ごみ (破碎・選別系)	粗大ごみ (一時多量ごみを含む)	409 t/年	・将来ごみ排出量の破碎・選別処理対象量より（令和 13（2031）年度）																																																																																																		
	その他燃やさないごみ	1,403 t/年																																																																																																			
	合計	1,812 t/年	—																																																																																																		
ごみの種類（資源ごみ）		保管対象量	備考																																																																																																		
受入 ヤード	缶【混合】	152 t/年	【缶、ペットボトル、ビン、紙資源、小型家電】 ・計画目標年次：令和 9（2027）年度 ・将来ごみ排出量の資源化物量より ・缶【成形品】に関するアルミ、スチールは、過去の実績（H30～R3）の比率から案分【プラスチック使用製品廃棄物】 ・稼働後 7 年以内最大処理量：令和 15（2033）年度（回収開始年度） 【粗大ごみ+その他燃やさないごみ】 ・稼働後 7 年以内最大処理量：令和 13（2031）年度																																																																																																		
	ペットボトル	229 t/年																																																																																																			
	ビン	756 t/年																																																																																																			
	プラスチック使用製品 廃棄物	1,132 t/年																																																																																																			
	粗大ごみ	409 t/年																																																																																																			
	紙資源	73 t/年																																																																																																			
	その他燃やさないごみ	1,403 t/年																																																																																																			
ごみの種類		処理対象量	備考																																																																																																		
資源系 (選別・圧縮系)	缶	146 t/年	・計画目標年次：令和 15（2033）年度 ・将来ごみ排出量の選別・圧縮処理対象量より																																																																																																		
	ペットボトル	221 t/年																																																																																																			
	ビン	727 t/年																																																																																																			
	プラスチック使用製品 廃棄物	1,280 t/年	・将来ごみ排出量の稼働後 7 年以内で最大選別・選別処理対象量より（令和 21（2039）年度）																																																																																																		
	合計	2,374 t/年	—																																																																																																		
粗大ごみ (破碎・選別系)	粗大ごみ (一時多量ごみを含む)	402 t/年	・将来ごみ排出量の破碎・選別処理対象量より（令和 15（2033）年度）																																																																																																		
	その他燃やさないごみ	1,391 t/年																																																																																																			
	合計	1,793 t/年	—																																																																																																		
ごみの種類（資源ごみ）		保管対象量	備考																																																																																																		
受入 ヤード	缶【混合】	146 t/年	【缶、ペットボトル、ビン、紙資源、小型家電】 ・計画目標年次：令和 15（2033）年度 ・将来ごみ排出量の資源化物量より ・缶【成形品】に関するアルミ、スチールは、過去の実績（H30～R3）の比率から案分【プラスチック使用製品廃棄物】 ・稼働後 7 年以内最大処理量：令和 21（2039）年度 【粗大ごみ+その他燃やさないごみ】 ・計画目標年次：令和 15（2033）年度																																																																																																		
	ペットボトル	221 t/年																																																																																																			
	ビン	727 t/年																																																																																																			
	プラスチック使用製品 廃棄物	1,280 t/年																																																																																																			
	粗大ごみ	402 t/年																																																																																																			
	紙資源	72 t/年																																																																																																			
	その他燃やさないごみ	1,391 t/年																																																																																																			

貯留 ヤード	缶【成形品】	122 t/年 【内訳】 アルミ：58 t/年 スチール：64 t/年
	ペットボトル【成形品】	183 t/年
	ビン	516 t/年
	プラスチック使用製品 廃棄物【成形品】	906 t/年
	金属類	184 t/年
	小型家電	58 t/年

「芦屋市一般廃棄物処理基本計画」を元に算出

(3) ごみ焼却施設

燃やすごみについては、プラスチック使用製品廃棄物を分別収集する場合の値となります。
選別残渣等については、プラスチック使用製品廃棄物の処理に伴う残渣を含む値となります。

表 5-2-3 処理対象ごみ量（ごみ焼却施設）

ごみの種類	処理対象量	備考
燃やすごみ (植木剪定ごみを含む)	19,481 t/年	・計画目標年次：令和 15 (2033) 年度 ・将来ごみ排出量の焼却処理対象量より
選別残渣等	2,088 t/年	
合計	21,569 t/年	—

「芦屋市一般廃棄物処理基本計画」を元に算出

貯留 ヤード	缶【成形品】	117 t/年 【内訳】 アルミ：56 t/年 スチール：61 t/年
	ペットボトル【成形品】	177 t/年
	ビン	496 t/年
	プラスチック使用製品 廃棄物【成形品】	1,024 t/年
	金属類	177 t/年
	小型家電	56 t/年

「芦屋市一般廃棄物処理基本計画」を元に算出

(3) 中継施設

燃やすごみについては、**中継処理を開始する令和 12 (2030) 年度の値となります。**
選別残渣等については、プラスチック使用製品廃棄物の**選別**処理に伴う残渣を含む値となります。

表 5-2-3 処理対象ごみ量（中継施設）

ごみの種類	処理対象量	備考
燃やすごみ (植木剪定ごみを含む)	19,893 t/年	・計画目標年次：令和 12 (2030) 年度 ・将来ごみ排出量の焼却処理対象量より
選別残渣等	2,043 t/年	
合計	21,936 t/年	—

「芦屋市一般廃棄物処理基本計画」を元に算出